

マーシャル・ゴールドスミス博士とは？

《経歴》

Marshall Goldsmith Partners LLC、インディアナ大学MBA、UCLA博士号エグゼクティブコーチングの第一人者。

世界的大企業の経営者80人以上をコーチしたことで知られる（GE、UBS、ゴールドマンサックス、クレディスイス、モトローラ等）。

1949年ケンタッキー州生まれ。76年から大学で教鞭をとるかたわら、専門とする「ボードメンバー向けリーダーシップアセスメント」の手法を駆使してリーダーシップ能力開発プログラムに従事。米国における「エグゼクティブコーチングのグル（先導者）」と呼ばれる。93年にはウォールストリート・ジャーナル紙から「エグゼクティブ教育のトップ10人」に、2004年には全米経営者協会から「過去80年間、マネジメント分野で最も影響を与えた50人の偉大な思想家・リーダーThinkers50」に選ばれた。**2013年のThinkers50(*)におけるランキング10位、リーダーシップ部門1位**。はマーシャル・ゴールドスミス・パートナーズ社の創業者であり、世界の企業教育トップコンサルタントを組織したA4SL(戦略的リーダーシップ同盟)のパートナーもつとめる。

(*)Thinkers50は、ロンドン・ビジネススクールの機関紙「Business Strategy Review」の編集者であるStuart Crainerと、オックスフォード大学サイド・ビジネススクールのアソシエイトフェローであるDes Dearloveが中心となって、2年に一度、アイデアの独創性や実用性などを基準に世界でもっとも優れた経営思想家50人を選ぶ取り組みです。



『コーチングの神様が教える
できる人の法則』

2007年ハロルド・ロングマン賞受賞
日本経済新聞出版社 刊